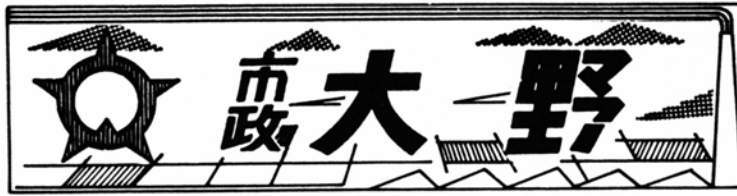


発 行

福井県大野市天神町1番1号  
大野市役所  
電話(代)6-1111  
郵便番号912  
印刷 松浦印刷所



11月の人口の動き

出生	男 23	女 21	計 44
死亡	〃 18	〃 10	〃 28
転入	〃 25	〃 41	〃 66
転出	〃 32	〃 57	〃 89
世帯数	10,362(前月+3)		
人口	42,785(前月-7)		
男	20,667	女	22,118

# 迎春

美しさと  
りのしさを  
たくましさと  
ねばり強さを

このあらたなる年に



明けましておめでとう  
ございます。

昭和52年の輝かしい年  
を皆様とともに健やかに  
迎えることが出来ました  
ことは誠に同慶にたえ  
ません。



昨年はロッキード事件に明け暮れ、政局混迷の  
続くなかで戦後初の任期満了による総選挙が行われ、  
国政に対する国民の厳しい審判が下されるなど  
激動の一年でありました。

市政の面では、各位の絶大なご協力を賜わり、  
待望の特別豪雪地帯の指定、清掃センター建設の  
着工など住民福祉に密着したまちづくりを一步一  
歩進めることが出来ました。

本年も景気の見通しはまだまだ厳しいものがあ  
りますが、健全な財政運営を基本として山積する  
諸問題と積極的に取り組んで参りたいと存じてお  
ります。そのためには、行政経費の節減合理化を  
更に徹底し、効率的な財政運用により道路・交通  
安全施設や環境衛生施設を整え、ほ場整備事業・  
第二次林業構造改善事業の推進など産業基盤の確  
立を図るとともに、教育環境施設につきましても  
有終東小学校の着工など鋭意整備充実に努めてま  
いる所存であります。なにとぞ、市政進展のため  
に一層のご理解とご協力を心からお願い申し上げ  
まして新年のごあいさつといたします。

大野市長 寺島利鏡

明けましておめでとう  
ございます。

皆さま方にはご健勝で  
昭和52年の輝く新春をお  
迎えになられましたこと  
を心からお喜び申し上げ  
ますと共に、平素のご協  
力に対し、深く感謝申し上げる次第であります。



昨年は政局の混迷、公共料金の値上げ、諸物価  
の高騰、景気の中だるみ、かてて加えて天候の不  
順など決して恵まれた年であったとは言えません

その中であって市議会といたしましては理事者  
と力を合わせ一体となって特別豪雪地帯の指定を  
受け、また多年の懸案でありましたゴミ焼却場の  
建設に着手し、その他産業基盤の整備、道路舗装  
学校建設、有終会館の設置など積極的にその施策  
の推進に努めてまいりました。

本年もお政治的、経済的にもきびしい情勢が  
続くものと予測されますが、広大な山野と豊富な  
緑、良質な水に恵まれた当市の特徴を生かした住  
みよい新しい町づくりを推進し、市民生活の安定  
向上、福祉の増進に私ども議会人一同全身の努力  
を尽したいと決意を新たにしております。

どうか今後とも一層のご協力ご支援をお願いし  
併せて、皆様方のご多幸とご健闘をお祈りいたし  
まして、年頭のごあいさつといたします。

大野市議会議長 斉藤秀雄

あけまして  
おめでとうござい  
ます

12月定例市議会

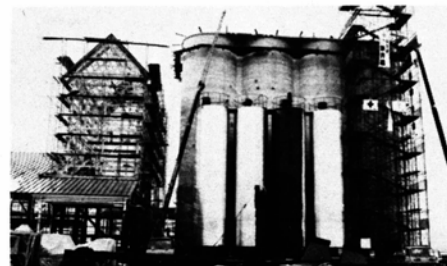
一般会計に1億6,300万円追加

第162回定例市議会は12月13日~20日  
の8日間開かれ「一般会計補正予算案」  
「各特別会計補正予算案」など10議案を  
審議し、原案どおり可決、承認しました  
一般会計は歳入歳出にそれぞれ1億6  
,301万円を追加し、予算総額は44億6,9  
63万円になりました。主なものは人事院  
勧告に基づく職員給与改訂に要する経費  
福祉、農業振興、災害復旧費などです。

総務費▷都市計画街路中挟・中野・大  
橋線と駅東線の交差点に照明灯4基設置  
89万円。

民生費▷和光園増築補助 108万円。▷  
大野荘改築、新築補助 578万円。▷老人  
医療費に 2,289万円追加。

農林業費▷  
上庄農協カン  
トリーエレベ  
ーター建設補  
助 3,289万円  
を追加  
災害復旧費  
▷林道復旧に  
494万円追加



工事が進む上庄農協のカントリー  
エレベーター

票、開票記録は次の  
とおりです。

【投票記録】▷当  
日の有権者数男14,2  
39人、女16,060人、  
計30,299人▷投票  
者数と投票率男12,4  
00人(87.08%)、女  
14,216人(88.52%)  
計26,616人(87.84%)

衆院選の投票率は87.84%

県下7市の最高

12月5日行われた衆議院議員総選挙の  
大野市の投票率は87.84%で、前回昭和  
48年の同選挙より5.16%高く県下7市の  
うちで最もよい成績でした。大野市の投

【開票記録】▷有効投票26,426▷無  
効投票 187▷不受理3

【候補者別の得票数】

福田 一	16,036	田畑政一郎	2,704
平泉 涉	2,626	堂森芳夫	1,271
横手文雄	1,202	中野弘則	852
坪川信三	522	植木庚子郎	429
牧野隆守	391	坂口 章	347
竹内 啓	46		

<昭和51年あれこれ>

清掃センター建設に着工

有終会館もオープン

昭和51年は近年にない厳しい財政状況でしたが、皆さん方のご協力によっていろいろな面で市政を発展させることが出来ました。主な出来事をもう一度振り返ってみましょう。

〔1月〕 1日都市計画街路中挟中野大

橋線開通。1日～31日市民の節水で井戸枯れわずか7件。

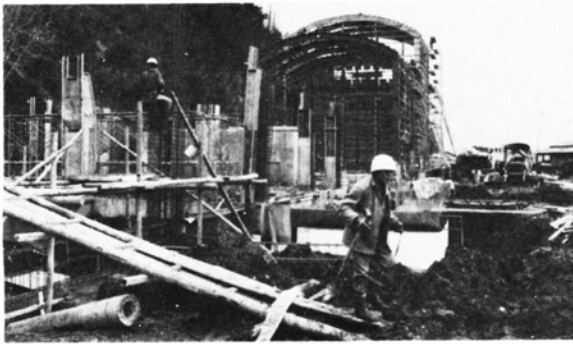
〔2月〕 28日有機農業と消費者を結ぶ「ゆうきの会」が発足。

〔3月〕 25日伸び率は近年最低で厳しい新年度予算総額50億 6,037万円。31日寺前公園完成。円山公園に遊歩道完成。

〔4月〕 1日大野市史編さん室を設置15日大野市「特別豪雪地帯」に指定。19日～5月2日日本海沿岸自治体首長第一次友好訪中団に寺島市長参加。

〔6月〕 9日～11日織物工場の地下水利用診断実施4社4工場。

〔7月〕 1日市街地のゴミ「分別収集」



▲8月5日に開通した国道158号線の馬返しトンネル

◀基礎工事が進む大野市清掃センターの建設

実施。森林総合利用促進事業の千本杉林道工事に着工。31日市民ハイキングコース完成(宝慶寺一摺鉢峠一黒谷山一飯降山)

〔8月〕 1日大野交通路線に京福バスが運行。5日馬返しトンネル開通。4日～7日織物工場の地下水利用診断実施15社18工場。

〔9月〕 5日大野市農協種子生産供給安定施設が完成。

〔10月〕 5日市民会館 1,000組目の結婚式。16日大野市清掃センターに着工、建設費5億 5,100万円。

〔11月〕 1日有終会館オープン。小・

中学校で週1回米飯給食実施。大野心身障害者職業訓練授産施設「あすなろ」開所。大野市通学区域審議会設置。5日住居表示審議会設置。20日阪谷公民館調理室改造工事完成。

〔12月〕 1日県立少年自然の家オープン。5日衆議院議員総選挙。5日真名川ダム第1次貯水開始。23日富田小学校体育館完成。

阪谷公民館

調理室が完成

10月から改造工事を進めてきた阪谷公民館の調理室がこの程完成しました。

総工費は夜間用玄関、便所などの改造をも含めて297万円。広さ46平方メートルの室にステンレスの調理台を4台備えました。

阪谷地区婦人会では早速おせち料理の講習に初使用、今月からは定期的な講習会を開いて地域の食生活改善に役立てていきたいと張り切っています。

国鉄市内線が環状運行

3月いっぱい冬ダイヤ8本

国鉄バスの市内回り線は合同庁舎前で折り返し運転をしていましたが、12月15日から中野を通り大野三番へもどる環状線になりました。

運行方法はバスが市内を1回りして大野三番へもどると九頭竜湖、勝原スキー場行きなどの市外線に切り替わるもの6本、それに市外線から東中で市内回り線に切り替わるもの2本の計8本です。

3月31日までは冬ダイヤで右表のとおりです。ご利用下さい。

大野三番	越前大野	東中	会市館前民	庁舎前同	中野	大野三番	越前大野	市外線
9:45	9:52	9:55	9:57	10:01	10:03	10:05	10:12	→九頭竜湖前
11:30	11:37	11:40	11:42	11:46	11:48	11:50	11:57	→勝原スキー場行
13:00	13:07	13:10	13:12	13:16	13:18	13:20	13:27	→荒島行
15:10	15:17	15:20	15:22	15:26	15:28	15:30	15:37	→九頭竜湖前
17:25	17:32	17:35	17:37	17:41	17:43	17:45	17:52	→荒島行
18:30	18:37	18:40	18:42	18:46	18:48	18:50	18:57	→中休行

市外線	東中	越前大野	大野三番	中野	会市館前民	庁舎前同	東中	越前大野	大野三番
荒島発7:50→	8:02	8:05	8:12	8:14	8:16	8:20	8:22	8:25	8:32
九頭竜湖発9:10→	10:02	10:05	10:12	10:14	10:16	10:20	10:22	10:25	10:32



昭和42年 自動車の交通量や駐車台数も少なかったアカシヤ並木の六間通り



昭和42年の大野市の自動車台数は8,800台、1世帯当たり0.8台でしたが、現在は約1万5,600台1世帯当たり1.5台です。両年の比較で一番変化の大きいのは乗用車で、昭和42年の804台に対して現在は約7,100台で9倍に増えました。

現在 並木がヒマラヤ杉にかわり、交通量も多くなった大野商工会議所前

# 大野市は変わった

## 十年ひと昔

大野市はことし23歳になります。たくましい青年都市になりました。部分的にはまだまだ未熟な点がありますが、その未完成や粗野な部分こそ大きな可能性を秘めた大野市の魅力です。「十年一昔」といわれていますが「13歳（昭和42年）当時のスナップ写真がありますので、現在と比べてみましょう。そして、これから10年後はどんな壮年都市に成長するか、あなたが想像してみてください。



昭和42年 七間線の舗装工事



昭和42年 南部土地区画整理事業で造られた向島線。正面の家並みは春日3丁目



現在 将来は富田大橋まで延長される七間線（福井新聞大野支社前から東側を望む）



現在 住宅が建ち、すっかり市街化した都市計画街路向島線の沿線（三浦織物株式会社横から南側を望む）

昭和42年は駅東土地区画整理事業が終わり、南部土地区画整理事業がたけなわな時でこれらの事業により幹線道路が次々と造られ、その舗装が市の重点施策になり始めた時期です。市道の舗装は昭和42年に市道延長344.3'のうち8.6'だけで、舗装率はわずか3%でした。それが現在は市道延長349.9'のうち123.1'だけで35.2%になりました。この10年間で市街地の舗装率は約90%、農村部の部落内の舗装率は約50%に達し、1昨年からは農村部の部落間の幹線道路の舗装に重点が置かれています。



写真上 昭和42年 春季消防総合訓練で六間、三番通り交差点を行進する大野消防団員  
写真下 現在 六間、三番通り交差点

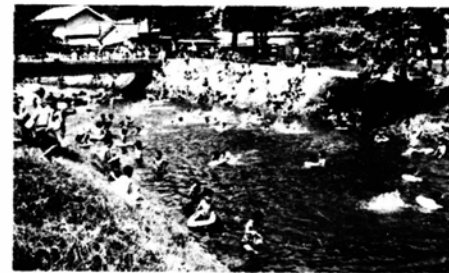
昭和42年の写真をご覧ください。現在市内でも交通量が多いこの交差点に、まだ信号機がありませんでした。また六間通りは有終西小学校前から三番通りの間が未舗装の状態でした。

昔から赤根川は、魚釣りや水泳など子供の身近な遊び場でした。

昭和42年までは赤根川に水泳監視人を置き、公認の水泳場として利用してきました。

昭和42年以来市は年次計画をたて各小・中学校にプールを建設してきましたので、現在はほとんどの学校にプールがあります。これによって河川利用の水泳場はなくなりました。

現在 「水の事故防止」の立て札が立つ赤根川



昭和42年 赤根川で水遊びを楽しむ児童



土地基盤整備前の水田（今井区で）



現在 整然と3アールに区画された水田

昭和42年の市内の稲刈機は105台、現在は稲刈機818台、コンバイン1,685台です。この10年間に農業は驚くべき早さで機械化が進みました。

この大きな原因になったのは土地基盤整備事業です。

大野市の水田総面積は4,262畝です



昭和42年 結束式バインダーによる稲の試験刈りに見入る市民



現在 土地基盤整備が行われた田をコンバインで稲刈り



# わたしのコレクション

「夢多き趣味それはコレクション」だと言われていきます。あなたは何か手掛けておられますか。古いもの、新しいものそしていろいろな形や種類に自分なりに価値を見出し収集するのは夢と楽しさでいっぱいでしょう。市内には多くの方がいろいろな分野でコレクションに励んでおられます。その中から3人の方に収集についてのよもやま話をお聞きましたので、ご紹介しましょう。



とっくりの手入れをする中村弥次郎さん

中村弥次郎さん(67歳、下据)は大野の酒とっくりを集めています。

8年前に土蔵から出てきた三、四個のとっりに魅せられたのが切っ掛けで、その後コツコツと収集を続け、現在では江戸・明治時代の造り酒屋や受け酒屋30店、約60本を保存しています。

種類は5升、2升、1升、5合の4種で、どれも乳色の地にあい色の文字が鮮やかに書かれ、口にはしゅろのさげなわ

が結び付けられています。「昔は竹の棒にとっりをぶら下げて酒を買いに行ったのですね。それぞれのとっりはその家だけに使われていたので、だれが買いにいても番号をみれば買主がわかったそうですよ。また、十二支はとっりが作られた年を示しています」と中村さんはつややかな曲面をなでながら話していました。

江戸時代のとっりには「大茶屋、とり百十八」「角泉屋、亥老号」など屋号十二支、番号が書かれ、明治時代のは新たに「銘酒猩々」「銘酒豪海」「銘酒羽衣」「銘酒越及松」などの酒名が加わっています。

「江戸時代にはまだ酒の名がなかったのですが、明治時代になるとそれぞれの酒屋が酒名をつけ売り出したのでしょ」ととっりが語る昔の庶民の生活ぶりをひもどき「あと二、三店のとっりがないのでこれから根気よく捜していきたい。でもこのようにとっりが多く集まっても、生まれつきの下戸は一向に強くなりません」と中村さんはユーモアを凝じえながら、収集への抱負を語っていました。

## 郷土のとっくり

### 30店、江戸、明治の酒屋 60本を保存

器は語る、庶民のくらし

した。

ただ繭玉飾りはまだわずかながら行われています。家の大黒柱の天井近くに飾り木を設け、小枝につきたてのもちをうす(臼)からちぎって花が咲い

たように着けました。そして、ことしも「よい繭がたくさんとれますように」と祈りをこめました。

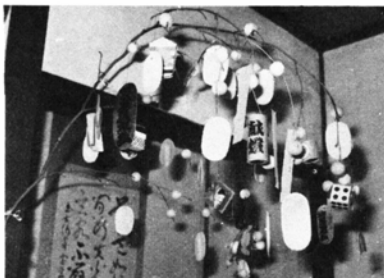
やがて飾り木には菓子の小判、タイ、千両箱、大黒様などの縁起物がつるされるようになり、いつしか商売繁昌を願うものによって飾り場所も店が多くなりました

#### ④正月行事

### 繭玉飾り



大野地方の正月民俗行事は、江戸時代の迎春準備、正月行事、飾り物新春の祝い言——などが昭和の初めごろまで続いていました。



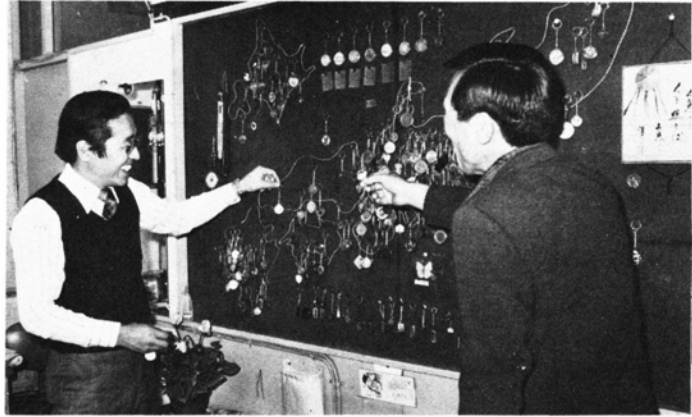
これらをとおして人びとは正月を祝い、魂の憩いの場として楽しんだのですが、このような姿も現在はほとんど見られなくなりま

# 夢と楽しさがいっぱい



「日本地図いっぱい  
にしたい」  
仕事をとおして収集

キーホルダー



日本地図に新しいホルダーを掛ける  
大野観光の社員

大野観光自動車株式会社(長谷川敦男社長)では48人の社員が一致協力して全国各地のキーホルダーの収集をしています。これまでに集めたホルダーは北は北

海道の網走から、南は奄美大島までの約250個、事務所の大きな日本地図には求めた所に従っていろいろな形のホルダーが見事に掛けられています。

## 日本の民芸品

### 各地の民情に触れる

#### 旅行で求め300点

「民芸品は素朴さの中にその土地その土地の特徴がよく出ていますね。この金魚のねぶた(青森県)や米食いネズミ(輪島)などは見れば見るほど味があります」と河合清子さん(45歳、泉町)は全国各地から集めた約300点の民芸品を前にして目を細めていました。

集め出したのは20年前からで、お正月用の玄関に飾る干支(えと)を買ったのがきっかけです。

「民芸品の材料は木、紙、土、わらのいずれかで、その土地にとれるものです。そして形作られたものは、土地の歴史や伝統を現していますので、土地のにおいがかんかいます。これが民芸品の良さだと思います。このへびのかま首はユーモラスでしょう。これにはこんないわれがあります」と河合さんは説明書を開きました。それには「福島県田村郡三春町



「民芸品は素朴さが魅力」と語る河合清子さん

大町とあり、養蚕の盛んな村で、農民の最大の悩みは蚕を食うネズミ、そのネズミを退治してくれるのは神の使いである青大将ある、との内容が書かれています。

河合さんは「集めた民芸品は都市の物が少なく、ひなびた地方が多いです。各地方の民情に接する意味から今後も集めていきたい」と話していました。

始めたのは昭和42年からで、ことしてちょうど10年目、1社員の発案が実を結び、今では社員みんなの心の寄り所になっています。「これはきのう行ってきた犬吠埼と鯛ノ浦のものです」と、社員が新しい土地のホルダーを持ち込み日本地図に加えます。このように、収集は会社の仕事をとおして自分たちで集めることをモットーに行われています。

250個のホルダーの中には各地の名所旧跡はもちろんのこと、各県で開催され

#### スマイル

##### 「へび年」

お年玉はへび一級!! 子供  
お年玉はへび一級!! 父親

た国体、万博、明治百年記念などの記念メダルが幾つも並んでおり、この10年間に日本で行われたいろいろな事業の足跡板にもなっています。

長谷川さんは「まだ沖縄県は1つもありませんし、中国・東北地方の数もわずかです。中国・東北へはよく出かけますが夜行になることが多いので求めにくいでしょう。社員の和のシンボルとして、ことしも積極的に新しいホルダーを収集したいものです」と話していました。

### 青少年を守る市民運動

## 温かい愛の言葉を

青少年を守る市民運動が昨年12月15日から1月15日まで進められています。この期間は冬休みやお正月があり、ともす

ると子供の気持ちが緩み事故や非行が起きやすいものです。良い行為には励ましを、良くない行いや危ない行為をみたら、温かい愛の言葉をかけましょう。



#### ◆保育所入所申し込みは31日まで

来年度の保育所入所申し込みは次のとおりです。

〈定員〉市・私立の各保育所で 1,005人  
〈入所資格〉満1歳から小学校に入学する前までの幼児で、母親がいなかったり病気が仕事のため保育が出来ないなど、保育に欠ける家庭

〈申し込み期日〉1月31日まで

〈手続き〉市福祉事務所または各保育所にある申請書に必要な書類を添えて最寄りの保育所または市福祉事務所へ出して下さい。

#### ◆冬山、「登山届」は忘れずに

冬山シーズンを迎えました。登山される方は次の事柄を守って下さい。

1. 登山前に「登山届」を警察署に出す
2. 冬山の気象は常に変わるものだという事を考え行動する。
3. 登山装備、食糧は余分に持っていく
4. 無理なコースはやめ、天候が急変したときは引き返す勇気をもつ。
5. 1人での登山はやめる。
6. 通信機などをもち、常に連絡を取り合う。

#### ◆ゴミ収集可燃物、不燃物とも週1回

市街地のゴミ収集は1月5日から3月31日まで可燃物、不燃物ともそれぞれ週1回になります。

収集曜日は12月中にチラシでお知らせしたとおりです。ご協力願います。

なお、ゴミは収集日の朝ステーションへ出すようにして下さい。



#### ◆年賀はがきコンクール

大野公民館は年賀はがきデザインコンクールの作品を次のとおり募集しています。

〈応募資格〉大野市民

#### 成人式は15日

新成人おめでとうございます。該当者は昭和31年4月2日～昭和32年4月1日に生まれた男 289人、女 262人計 551人の方々です。栄えある門出をお祝いする成人式を次のとおり行いますので、ご出席下さい。

〈日 時〉1月15日(土) 午前8時30分から

〈場 所〉市民会館

〈日 程〉

8時30分～10時 受付

9時～10時 バンド演奏

10時～11時 式典

11時～12時30分 記念行事

12時30分～13時40分 昼食、交歓会

13時～15時30分 記念撮影とお好みコーナー

〈作品規定〉昭和52年の年賀ハガキで、自作または受け取ったもの。印刷所が印刷したものやプロ作品は除きます。また市外の方から受け取ったものは参考作品になります。

〈部 門〉小・中学生部門と一般部門

〈締め切り〉1月17日(月)

〈提出先〉大野公民館

#### ◆源泉還付申告書提出は1日中に

大野税務署では2、3月は所得税確定申告書の時期でたいへん混雑するため、「納税証明書の請求」は2月中旬までに「源泉徴収の還付申告書」は1月末までに提出するよう望んでいます。

なお、前年還付を受けられた方には、1月中旬までに確定申告書用紙をお送りします。

### 今月の納税

市、県民税、保険税 第4期分  
31日までに納めて下さい



「一日の計は朝にあり、一年の計は元旦にあり」とは、言い古し聞き古された格言であるが、新年を迎える。とやはりこの言葉に新鮮味が感ぜられる。お正月には「一年の計は元旦にあり」が最もピッタリくる。つまり、この言葉それ自体がお正月のようなものではなからうか。新年は人間一生のうちに何度も何十度も繰り返して迎えるものであるが、何年たつても「もう幾つ寝るとお正月」と歌いながら指折り数えて待ちこがれた幼い日の思い出が秘められている。この大人の私の中に潜んでいる子供心がよみがえってきて胸がときめき感激に打たれる▼また、「新年は水の如し」とある。「天地開びやくとともに古く暁の若水とともに新しく……」という句をもって「水」を歌った詩人があるが、お正月は即「若水」ではあるまいか。新年という「時」は過去の仕損じのすべてを水に流し、若水くんで再出発する機会を与えてくれる。私どもには過去の記録を省みて将来の発展を期し、一段の雄飛を企図する意欲がみなぎっている。したがって元旦の計はどんなに大きくとも決して無鉄砲なものではない▼新年の生活土俵は荒れ果てたものではない。きのうまでの間に幾度かの取組みのあった土俵が一夜明けたきょうはすっきり整理され、正しく、美しく清らかに築かれている。一つの足跡も印されていないこの新土俵の上に、力強くシコを踏み優勝を目指して、ことしの生活の足跡をより確かに誠実に印したいものである。